

計画の名称	安心・快適な、賑わいのあるコンパクトシティ型地域拠点の形成促進												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	安城市												
計画の目標	平成22年度に策定した安城市都市計画マスタープランで定める「歩いて暮らせる集約型の市街地形成」、さらに平成25年度に策定した低炭素まちづくり計画で定める「都市の機能の集約を図るための基盤整備や都市機能の配置の適正化」をさらに推進すべく平成30年度に策定した第三次安城市都市計画マスタープランに基づき、本市4つの主要鉄道駅（JR安城駅、JR三河安城駅、名鉄新安城駅及び名鉄桜井駅）周辺を中心に、安心・快適な、賑わいのあるコンパクトシティ型地域拠点の形成促進を目標とし、都市機能や居住が高度に集積した地域拠点の形成を図り、第三次安城市都市計画マスタープランの目標である「みんなでまちをつくる！都市機能が便利に使える集約型都市づくり」の実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,726	A	3,592	B	0	C	134	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.59	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	駅周辺における土地利用ポテンシャル（%） 空間賑わい創出を検討する地域における、現低未利用地で増進可能な居住・都市機能誘導床面積に対し、空間賑わい創出ポテンシャルエリア（土地区画整理事業や市街地再開発事業の適用検討により創出が期待される高度利用床面積を含む低未利用地）における居住・都市機能誘導床面積の伸び率 都市機能の集約効果	100%	%	107%
2	コミュニティバス利用者数（人/年） コミュニティバス利用者数 賑わい・人の集積	264500人/年	人/年	271000人/年
3	マチナカ居住の誘導（人/ha） マチナカ居住の誘導（人/ha） マチナカ居住の誘導（マチナカ居住誘導区域内の人口密度） 居住の集積	9896人/平方キロメートル	人/平方キロメートル	9936人/平方キロメートル
4	マチナカ拠点の形成（%） マチナカ拠点の形成（%） マチナカ拠点の形成（マチナカ拠点区域における安心・快適な、賑わいあふれるマチナカ拠点エリアカバー率） 都市機能の集積	640%	%	937%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	安城市	直接	安城市	-	-	空間再生賑わい創出事業 (新安城駅地域拠点地区)	空間賑わい創出検討 N=1地区	安城市						10		未策定		
	A13-002	市街地	一般	安城市	直接	安城市	-	-	安城桜井駅周辺特定土地 区画整理事業	都市再生区画整理(都市空間 形成型 A=93.8ha)	安城市						864	1.2	-		
	A13-003	市街地	一般	安城市	直接	安城市	-	-	安城南明治第一土地区画 整理事業	都市再生区画整理(都市空間 形成型 A=16.7ha)	安城市						2,332	1.2	-		
											小計							3,206			
道路事業	A01-004	街路	一般	安城市	直接	安城市	S街路	改築	(都)南安城横山線	道路改築 L=586m	安城市						378		-		
											小計							378			
住環境整備事業	A16-005	住宅	一般	安城市	直接	安城市	-	-	末広・花ノ木地区 住宅 市街地総合整備事業	密集市街地の整備 16.7ha	安城市						8		-		

**A 基幹事業**

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況				
												H30	H31	R02	R03	R04							
一体的に実施することにより期待される効果																							
備考																							
																				8			

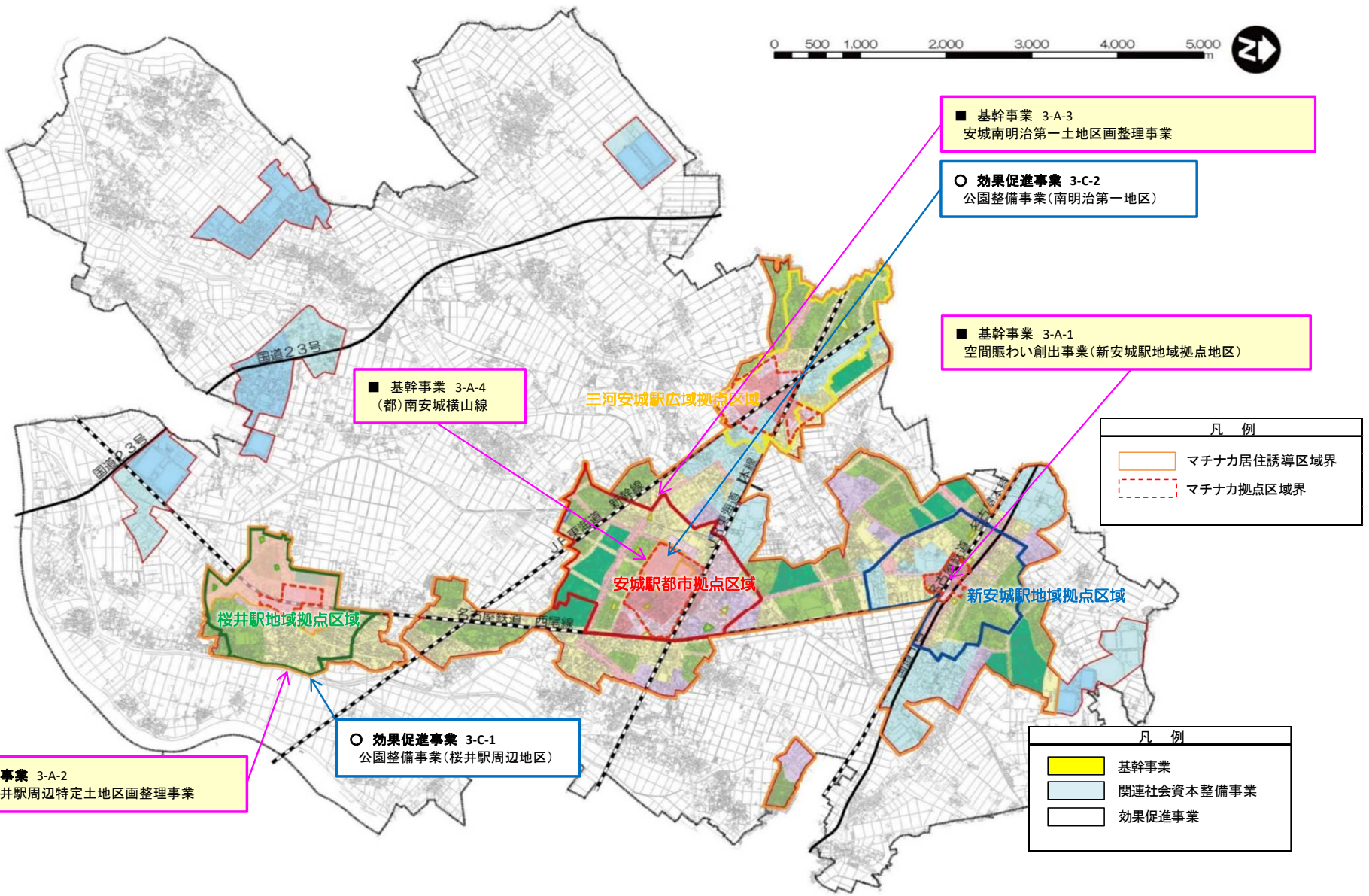
C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	安城市	直接	安城市	-	-	公園整備事業（桜井駅周辺地区）	公園施設整備 N=2箇所（桜井稲荷西公園ほか）	安城市						88	-		
		安心して暮らすことができる生活エリアの拡大と、地域住民の新たな交流の機会が生まれ、安心・快適な、賑わいのあるコンパクトシティ型地域拠点の形成促進を効果的に進めることが期待できる。																		
	C13-002	市街地	一般	安城市	直接	安城市	-	-	公園整備事業（南明治第一地区）	公園施設整備 N=1箇所（花ノ木公園）	安城市						46	-		
		安心して暮らすことができる生活エリアの拡大と、地域住民の新たな交流の機会が生まれ、安心・快適な、賑わいのあるコンパクトシティ型地域拠点の形成促進を効果的に進めることが期待できる。																		
											小計						134			
											合計						134			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	5	0	301	329	112
計画別流用増 減額 (b)	0	720	0	0	0
交付額 (c=a+b)	5	720	301	329	112
前年度からの繰越額 (d)	0	0	191	36	33
支払済額 (e)	5	529	456	332	84
翌年度繰越額 (f)	0	191	36	33	61
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	安心・快適な、賑わいのあるコンパクトシティ型地域拠点の形成促進		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	安城市



■ 基幹事業 3-A-2  
安城桜井駅周辺特定土地地区画整理事業

■ 基幹事業 3-A-4  
(都)南安城横山線

○ 効果促進事業 3-C-1  
公園整備事業(桜井駅周辺地区)

三河安城駅広域拠点区域

安城駅都市拠点区域

■ 基幹事業 3-A-3  
安城南明治第一土地地区画整理事業

○ 効果促進事業 3-C-2  
公園整備事業(南明治第一地区)

■ 基幹事業 3-A-1  
空間賑わい創出事業(新安城駅地域拠点地区)

新安城駅地域拠点区域

凡例

	マチナカ居住誘導区域界
	マチナカ拠点区域界

凡例

	基幹事業
	関連社会資本整備事業
	効果促進事業

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 安心・快適な、賑わいのあるコンパクトシティ型地域拠点の形成促進

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○